

(19) Japan Patent Office (JP)
(12) REGISTERED UTILITY MODEL PUBLICATION (U)

(11) Registered Utility Model NO.: 3076865
(U3076865)

(45) Date of Publication: April 20, 2001

(24) Date of Registration: January 31, 2001

(51)	Int. Cl. ⁷ :	Dom. Cl. Sym.	FI
	A 45D 40/00		A 45D 40/00 C

Evaluation report not requested
Number of Claims: 10 OL (12 pages)

(21) Utility Model Application NO.: 2000-7227 (U2000-7227)	(73) Owner of utility model: 500468607 Chem Cosmetic Packaging Company, Ltd. Thailand
(22) Application Date: October 6, 2000	(72) Creator: Anonade Lee Thailand (translation partially omitted)
(31) Priority Number: 0003000047	(74) Representative: 100105647 Shohei OGURI, Patent Attorney, et al.
(32) Priority Date: February 2, 2000	
(33) Priority Country: Thailand (TH)	

(54) [Title of the Device] LIPSTICK CONTAINER

(57) [Abstract]

[Object]

To provide a lipstick container with excellent airtightness which is excellent in airtightness, economical, and capable of maintaining lipstick quality over a long period of time.

[Solution]

The lipstick container has a cup 2 with a hollow portion 5 running through the inside, through which a lipstick can be injected from the bottom; a sleeve 13 capable of containing the cup in such a manner that the cup moves up and down thereinside; a ring 21 with a spiral groove 23 for moving a spiral projection 4 of the cup; and an outer shell body 36 having airtight base plugs 34 and 32, each of which is engaged with an upper engagement member 25 and a lower engagement member 24 and prevents external air from entering into the lipstick due to the engagement and an airtight cover plug 37.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3076865号
(U3076865)

(45) 発行日 平成13年4月20日 (2001. 4. 20)

(24) 登録日 平成13年1月31日 (2001. 1. 31)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

A 4 5 D 40/00

A 4 5 D 40/00

C

評価書の請求 未請求 請求項の数10 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 実願2000-7227 (U2000-7227)

(22) 出願日 平成12年10月6日 (2000. 10. 6)

(31) 優先権主張番号 0 0 0 3 0 0 0 0 4 7

(32) 優先日 平成12年2月2日 (2000. 2. 2)

(33) 優先権主張国 タイ (TH)

(73) 実用新案権者 500468607

チェム・コスメティック・パッケージン
グ・カンパニー・リミテッド

タイ国、ナクホンパトム県、アムプール・
サムファーン、タムボール・ヤイチャ、フ
ェトカセム・ロード、ムー・3 - 23 / 3

(72) 考案者 アノンナード・リー

タイ国、サムートプラカーン県、アムプー
ル・バンフィー、タムボール・バンシャロ
ン、ケイ・エム 15、パングナートラッ
ド・ロード、ムー・4 - 99 / 185

(74) 代理人 100105647

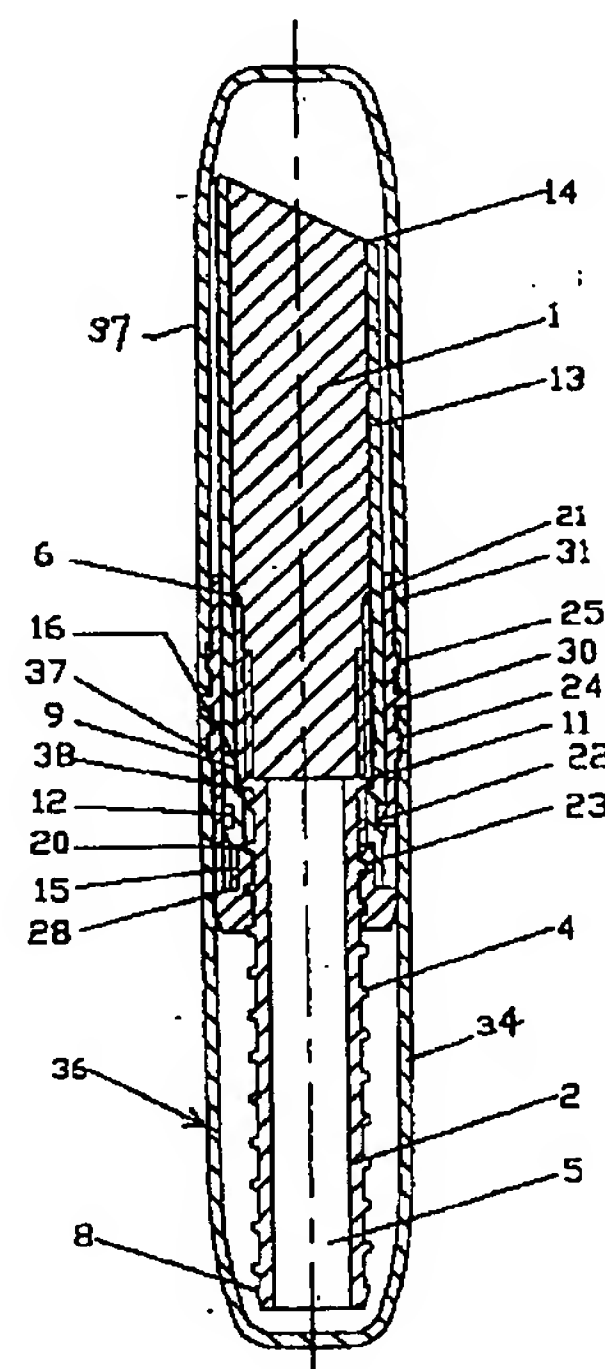
弁理士 小栗 昌平 (外4名)

(54) 【考案の名称】 口紅容器

(57) 【要約】

【課題】 気密性に優れ、経済的でかつ長期に亘る品質維持が可能である気密性に優れた口紅容器を提供する。

【解決手段】 この口紅容器は、底部から充填され得る、内部を貫通する孔5を備えたカップ2、前記カップを内部で上方または下方に動かすために前記カップを収容し得るスリーブ13、前記カップの螺旋突条4を動かすために螺旋溝23を有するリング21、それぞれ、前記リングの上方取り付け具25および下方取り付け具24に嵌合しかつ外部からの空気がその嵌合のため口紅の内部に侵入が阻止されている気密ベースプラグ34、32および気密カバープラグ37から成る外殻体36から構成される。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 口紅材料を底部から充填し得る、内部を貫通する孔（5）を備えたカップ（2）、前記カップを内部で上方または下方に移動可能に前記カップを収容するスリーブ（13）、前記カップの外周面に形成された螺旋突条（4）に係合して該カップを上下方向に移動するための螺旋溝（23）を内周面に形成したリング（21）、前記リングの上方嵌合部（25）および下方嵌合部（24）にそれぞれ嵌合して外部からの空気を遮断する上下に分割された気密カバープラグ（37）及び気密ベースプラグ（34；32）から成る外殻体（36）から構成され、前記気密カバープラグが取り外される場合に、前記スリーブ（13）に気密キャップ（35）が嵌合されると共に前記リング（21）及び前記カップの底部に同時に気密ベースプラグ（32）が嵌合するように成したことを特徴とする口紅容器。

【請求項2】 前記リング（21）が、前記カップ（2）の前記螺旋突条（4）を動かすための螺旋溝（23）を有しかつ内部を外気から遮断するようにそれぞれ気密に前記外殻体（36）に嵌合するための前記上方嵌合部（25）および前記下方嵌合部（24）を有しており、前記下方嵌合部（24）の直径が前記上方嵌合部（25）の直径より僅かに大きく設定されており、前記外殻体（36）の双方の部分と反対方向に同時に引張った際に、上方部分が外れて初めて下方部分が外れるように成したことを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項3】 前記リング（21）が、前記カップ（2）を動かすような螺旋駆動装置としてかつ前記外殻体（36）の2つの部分を嵌合により接続する継手装置として機能することを特徴とする請求項2に記載の口紅容器。

【請求項4】 前記外殻体（36）の上方部分及び下方部分が、同一形状を有する部材でありかつ異なる力で取り外し可能であることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項5】 前記カップ（2）が、上方部分（3）および下方部分（7）を有していることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項6】 前記リング（21）が、前記スリーブ（13）の減径部分（12）を錠止するための錠止部分（22）を有し、さらにその下方位置に前記スリーブ（13）の下方へのスリップを阻止するために該スリーブの下端部に係合する内方頂部ストッパ（27）を備えていることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項7】 前記カップ（2）の前記孔（5）が、底部から充填する口紅材料用充填機のノズルの挿入に十分な内径を有しかつ前記リング（21）に嵌合可能な外径を有し、更に、該孔が、前記外殻体（36）の下方部分によって気密に覆われていることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項8】 前記カップ（2）が、前記スリーブ（13）に対して下限位置において錠止れるように、該スリーブの減径部分（17）に整合する直径方向に設けられた2つの突起（10）を有していることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項9】 前記気密キャップ（35）が、前記スリーブ（13）に嵌合することを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【請求項10】 前記気密ベースプラグ（32）が前記リング（21）の前記下方嵌合部（24）に嵌合するための切り込み（39）と前記カップ（2）の前記孔（5）を塞ぐための底部プラグ（33）の両方を容器内部の気密性を高めるために一体的に有していることを特徴とする請求項1に記載の口紅容器。

【図面の簡単な説明】

【図1】口紅容器を示す断面図である。

【図2】上方に動いているときの状態を示す断面図である。

【図3】ベースおよびカバー36が気密ベースプラグ32および気密キャップ35によって置き換えられたときの状態を示す断面図である。

【図4】カップ2を示す断面図である。

【図5】カップ2を示す側面図である。

【図6】カップ20を示す断面図である。

【図7】カップ2のY-Yの拡大断面図である。

【図8】カップ2のX-Xの拡大断面図である。

【図9】スリーブ13を示す断面図である。

【図10】スリーブ13のベースを示す拡大断面図である。

【図11】スリーブ13の上面図である。

【図12】リング21を示す正面図である。

【図13】リング21を示す断面図である。

【図14】リング21の上面図である。

【図15】ベース／カバー36を示す断面図である。

【図16】気密キャップ35を示す断面図である。

【図17】気密ベースプラグ32を示す断面図である。

【符号の説明】

1 口紅または他のスティック状化粧品

2 カップ

3 上方部分

4 螺旋突条

5 孔

7 下方部分

13 スリーブ

21 リング

22 錠止部分

23 螺旋溝

24 下方嵌合部

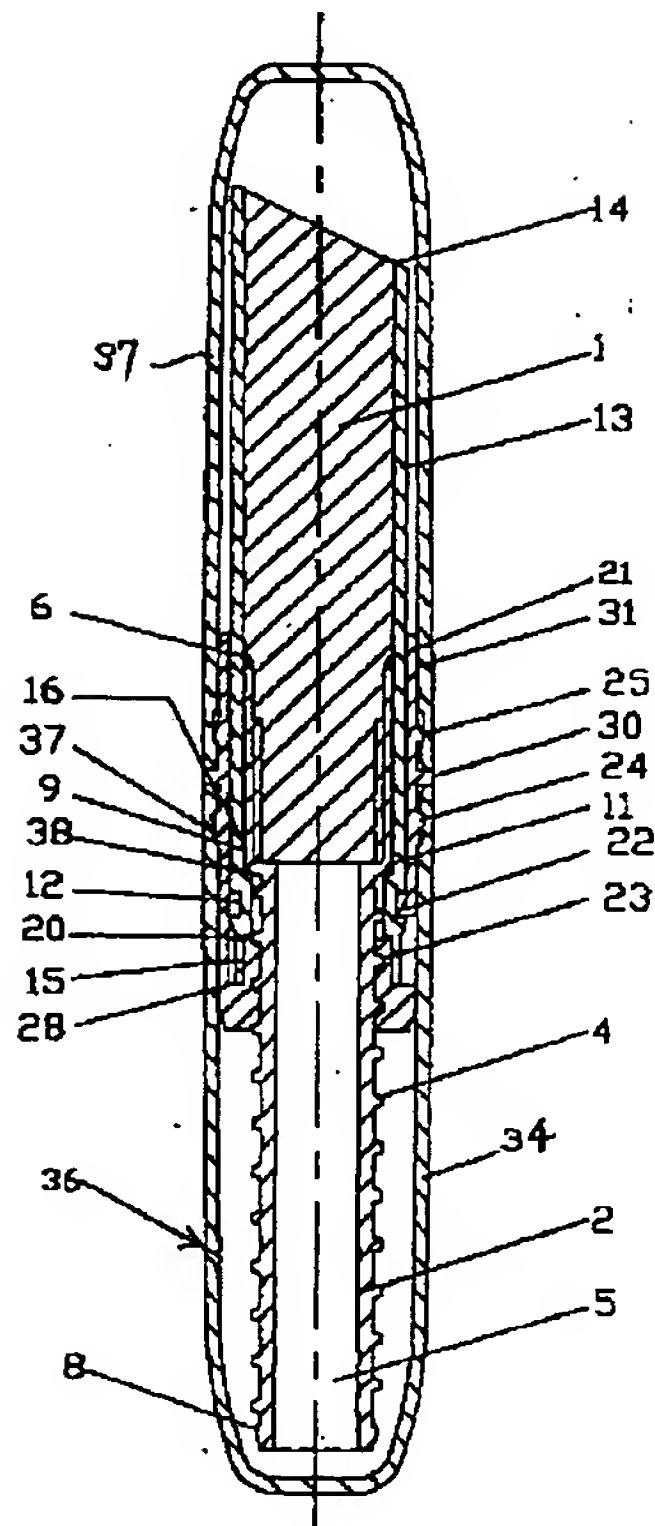
25 上方嵌合部

50 27 内方頂部ストッパ

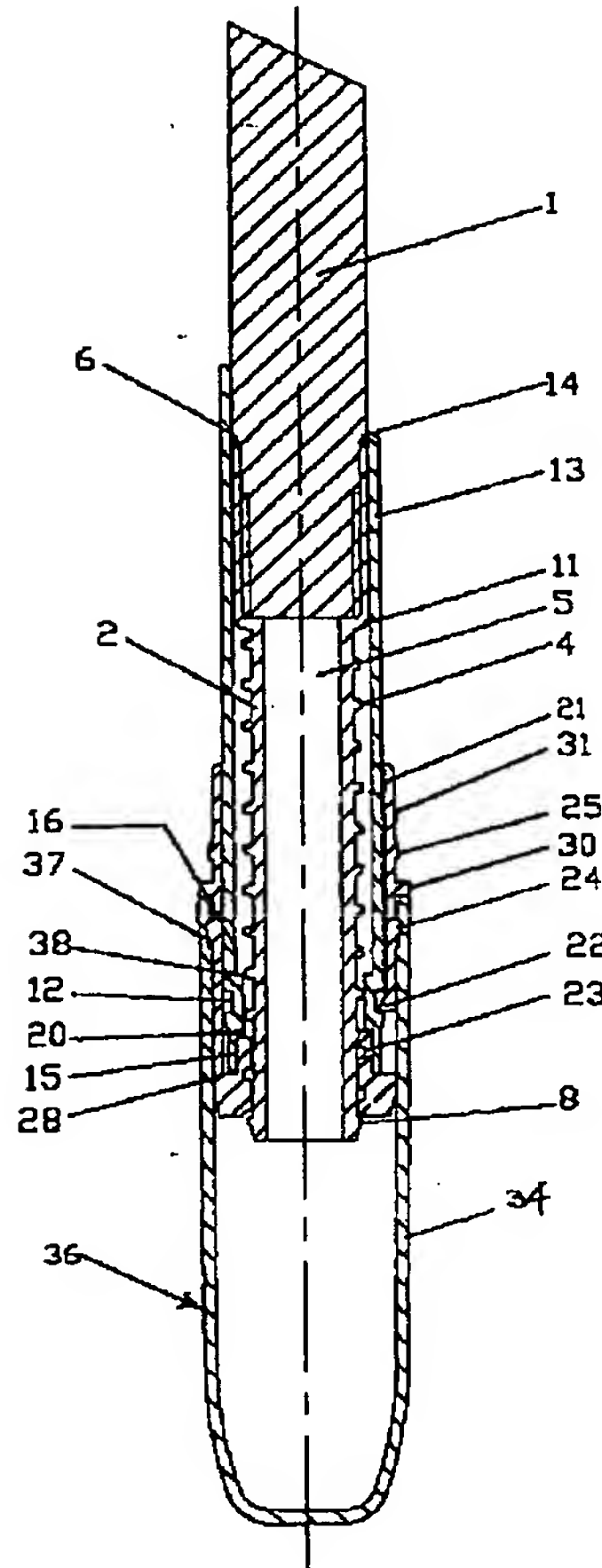
32 気密ベースプラグ
33 底部キャップ
34 気密ベースプラグ

* 35 気密キャップ
36 外殻体
* 37 気密カバープラグ

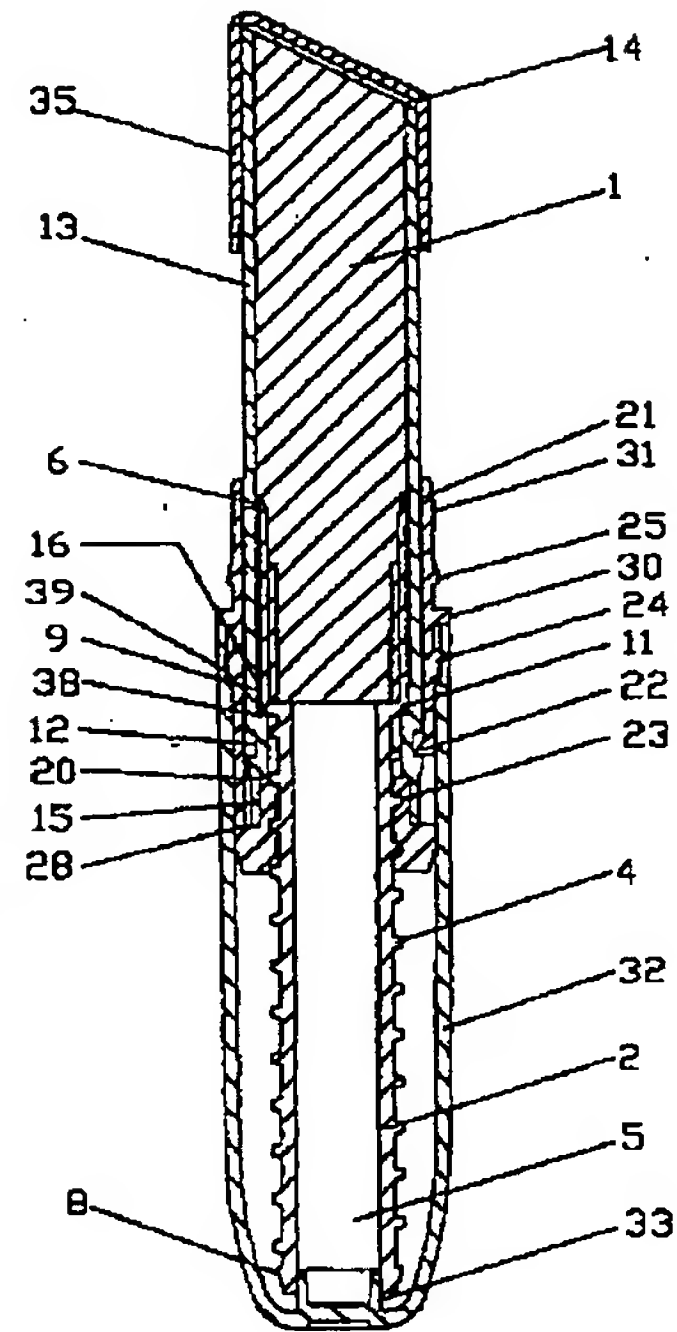
【図1】



【図2】

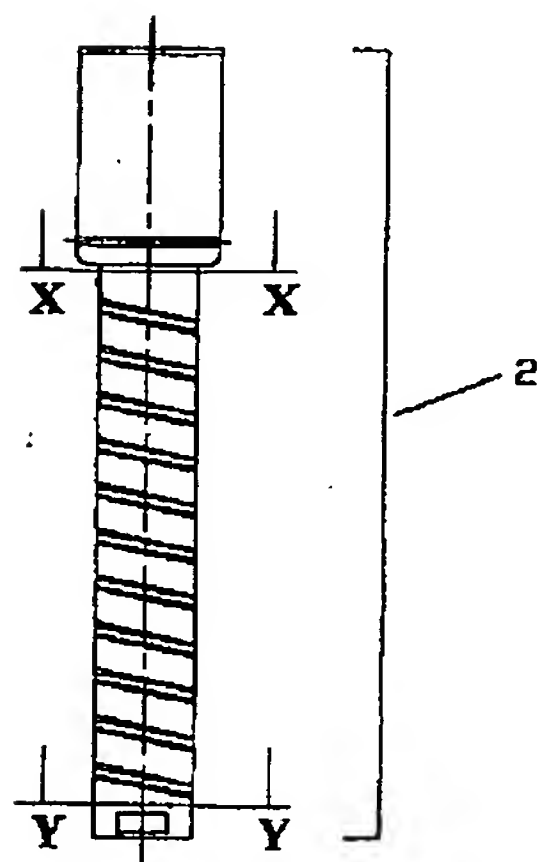


【図3】

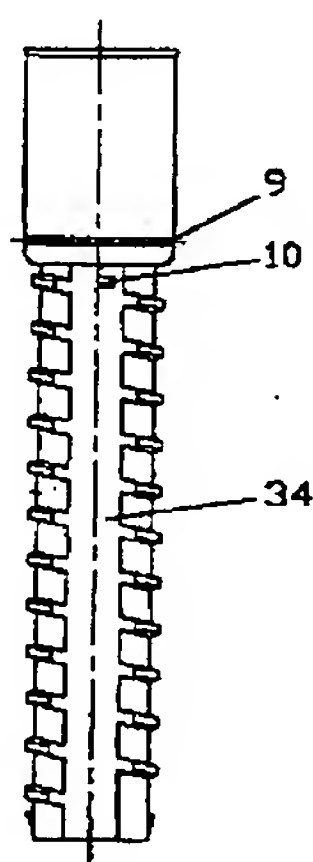


【図7】

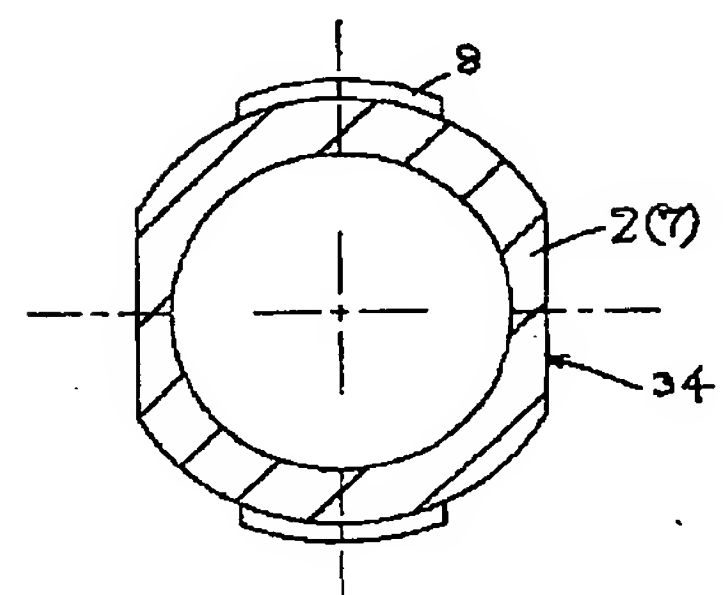
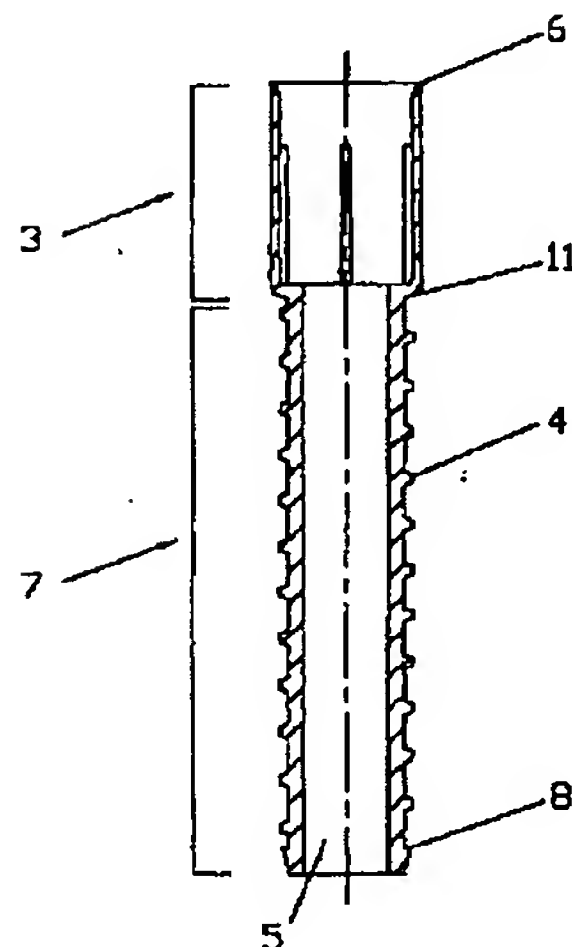
【図4】



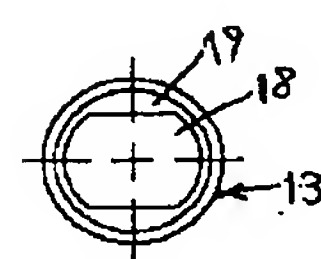
【図5】



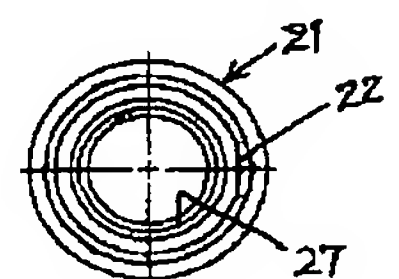
【図6】



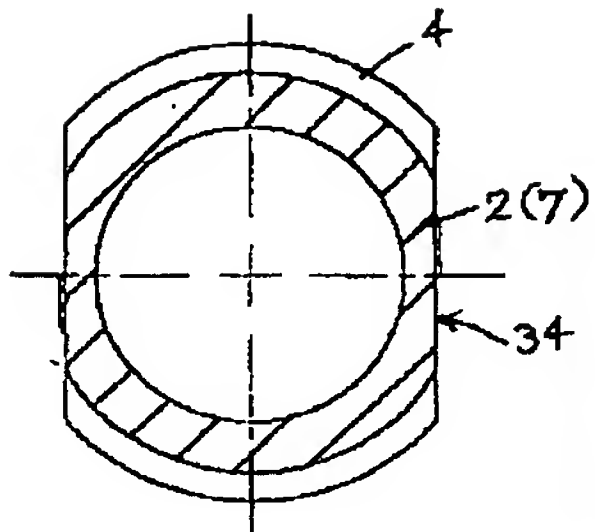
【図11】



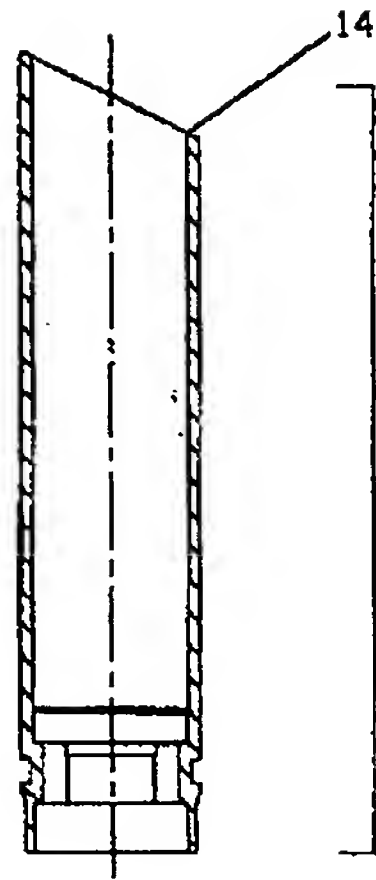
【図14】



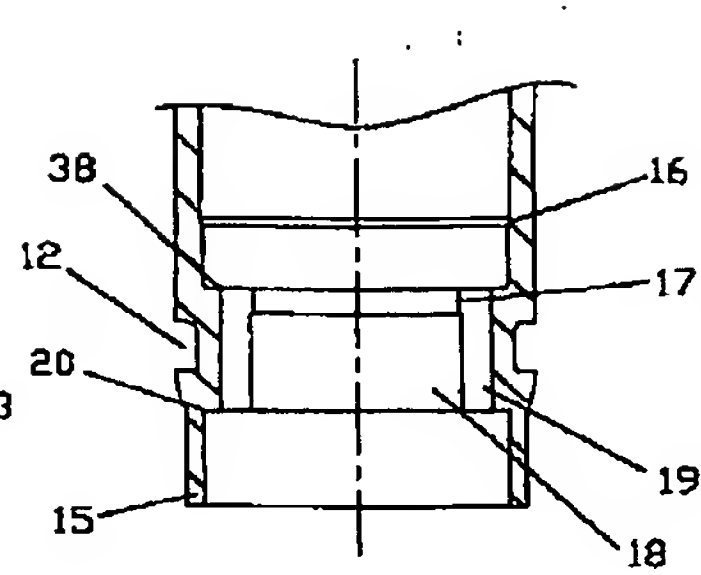
【図8】



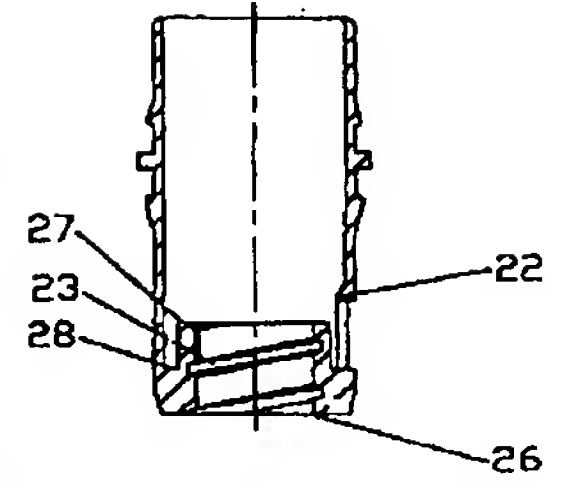
【図9】



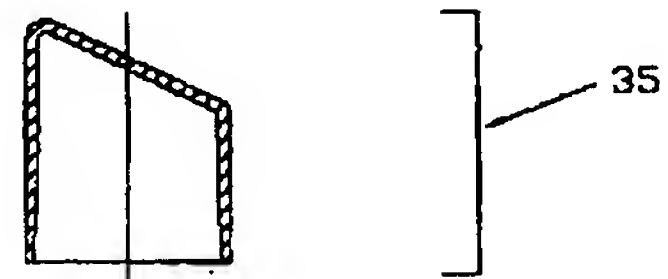
【図10】



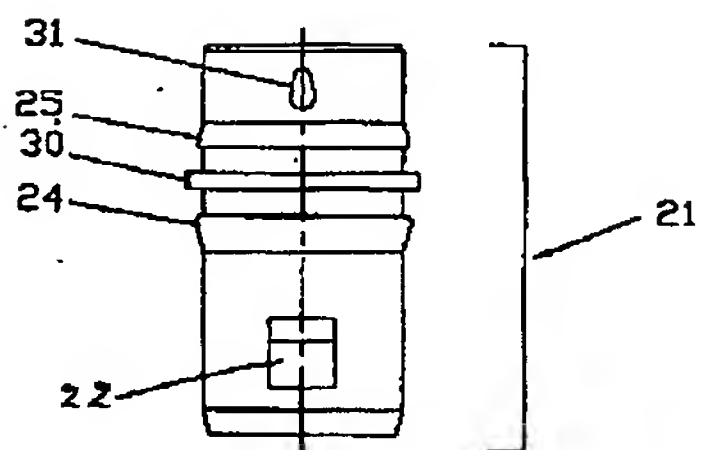
【図13】



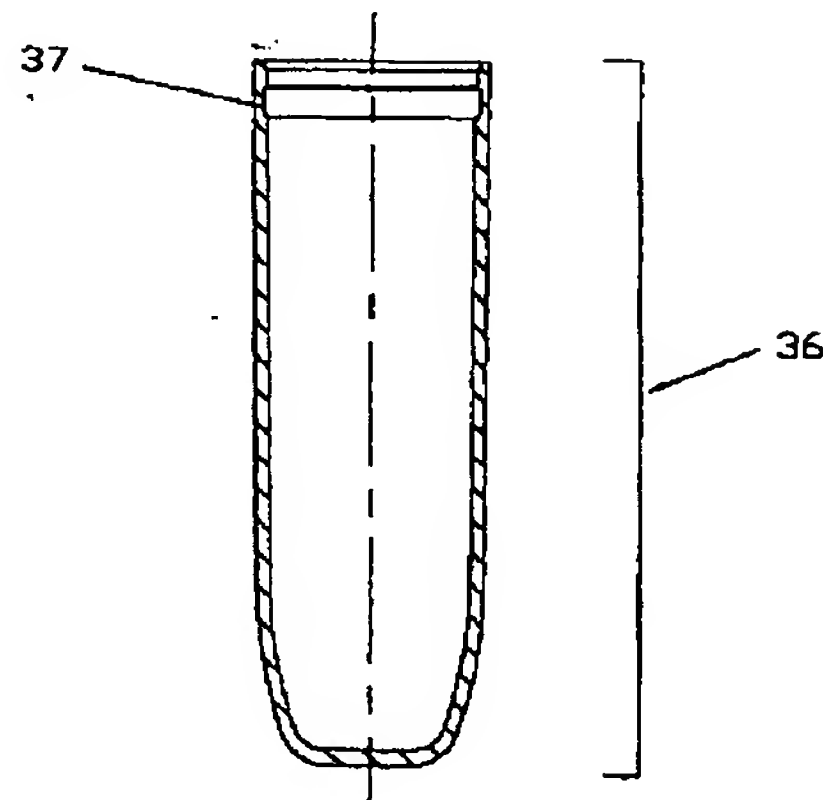
【図16】



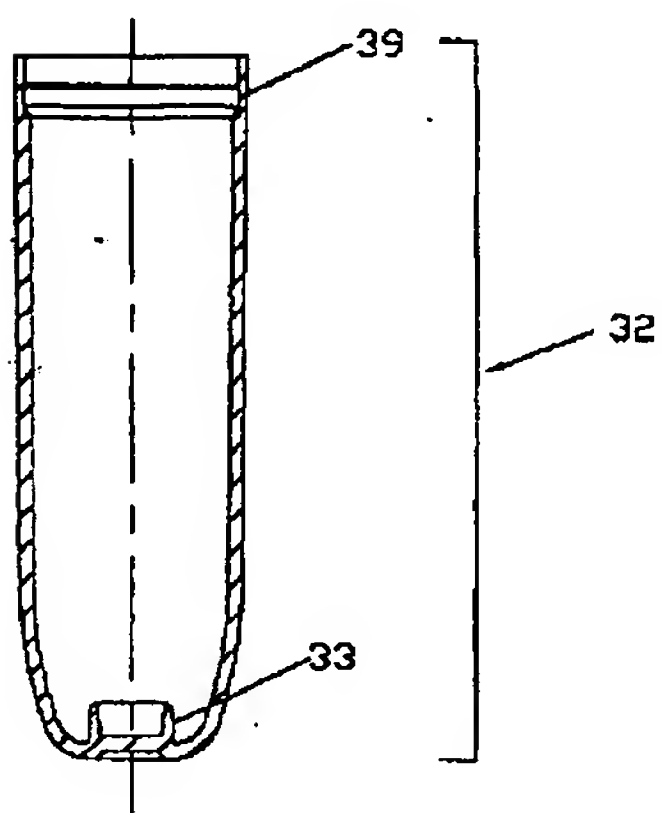
【図12】



【図15】



【図17】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、口紅を使用時には押し出し位置に移動し、不使用時には後退させて密閉保持するようにした口紅容器に関する。

【0002】**【従来技術】**

口紅または他のスティック状化粧品用容器は、使用に際し、カバーを取り外すことから始まり、次いで、スリーブを保持しながらベースを時計回り方向にまたは反時計回り方向に回転し、そのことによって、口紅或いはスティック状化粧品を充填されたカップは、ベースの回転にしたがって上方にまたは下方に動かされる。これが代表的な口紅容器の構成である。

【0003】

一般に、口紅容器は、カップ、カップムーバ、スリーブ、リング、ベースおよびカバーから成る6個の部材から構成されている。使用者は、最初にカバーを取り、次いで動かないようにスリーブを保持しかつ同時にベースを回転することによりカップを上下に移動する。カップムーバはベースに嵌合されているために、ベースの回転に連れて動かされ得る。ベースが時計回り方向に回転されるならば、カップは下に向かって動かされる。ベースが反時計回り方向に回転されるならば、カップは上に向かって動かされる。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

一般に、口紅或いはスティック状化粧品は、カップの頂部開口から該カップの容器部分内に充填され、その結果、外部からの空気または他の汚染物質が口紅容器に入ることが可能であるために、使用に際して、一旦、口紅を頂部に向かって上向きに動かし、その後、下向きに動かすと、カップに充填された口紅が下方に動かされない状態が時として生じる、その上、口紅はその充填時において、外気に晒されるので、その品質を損なうかまたは劣化させる惧れがある。

【0005】

さらに、従来の口紅容器は、少なくとも6個の部材から構成される機構を採用しているので、製造及び組立てに手間がかかり製造コストをより高く押し上げている。

【0006】

本考案の目的は、充填時に生じる上記した品質管理上の問題を回避し、気密状態での充填が可能になりかつ6個の部材に代わって4個の部材のみからなる簡単な構成で、長期間品質維持が可能で、かつ経済的にも有利な口紅容器を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本考案によれば、上記した目的を達成するために、口紅材料を底部から充填し得る、内部を貫通する孔を備えたカップ、前記カップを内部で上方または下方に移動可能に前記カップを収容するスリーブ、前記カップの外周面に形成された螺旋突条に係合して該カップを上下方向に移動するための螺旋溝を内周面に形成したリング、前記リングの上方嵌合部および下方嵌合部にそれぞれ嵌合して外部からの空気を遮断する上下に分割された気密カバープラグ及び気密ベースプラグから成る外殻体から構成され、前記気密カバープラグが取り外される場合に、前記スリーブに気密キャップが嵌合されると共に前記リング及び前記カップの底部に同時に気密ベースプラグが嵌合するように成したことを特徴とする口紅容器が提供される。

【0008】

以下で、本考案を添付図面に基づきより詳細に説明する。

【0009】

【考案の実施の形態】

図1ないし図17において、本考案による口紅容器は、カップ2、スリーブ13、リング21、外殻体36、気密キャップ37、および気密ベースプラグ34或いは32から構成されている。なお、本考案における「口紅」或いは「口紅材料」は、固化可能な一般的なスティック状練成物品と解されるべきである。

【0010】

図6に示されているように、カップ2は上方部分3および下方部分7から構成された細長い筒状の外形を有している。下端部、すなわち底部から口紅1の粘性材料を充填可能な孔5がカップ2を貫通している。図3及び図17に示されているように、カップ2は、その孔5の底部を気密ベースプラグ32の底部プラグ33により閉塞し得る。カップ2の下端部である底部外周面には、カップ2の回転を制限するように2つの対向ストッパ8が直径方向に突出して設けられている。下方部分7に沿ってストッパ8の上方には2つの対向螺旋突条4が形成されており、図13に拡大して示されているリング21の螺旋溝23に嵌合する。

【0011】

図5に見られるように、カップ2の下方部分7の外周面には、2つの対向する平滑な面34が形成されている。更に、図10に示されているように、この平滑な互いに対向する面34は螺旋突条4共々、スリーブ13のハウジング18内に収納される。図5に示されているように、平滑な面34の上端部には、2つの突起10があり、これらは、カップ2が底端に向かって下方に動かされるときカップ2を錠止するために直径方向に対向して設けられている。

【0012】

上方部分3において、その底部11の外径はスリーブ13の下端内面に形成された上方段部38の内径より大きくなっておりかつその上に当接可能となっている。加えて、その直径がスリーブ13の内周面から突出するリブである取り付けリング16の直径に嵌合する環状溝である取り付けリング9をその外周面に穿設されている。

【0013】

カップ2の頂部6は、筒状スリーブ13の内径に嵌合する拡大された直径を有している。図1、図2および図3に見られるように、スリーブ13は、カップ2を軸方向移動可能に収納するための内部貫通孔を備えた筒状形状を有している。カップ2が下方に向かって連続的に移動されるならば、取り付けリング9は、使用者がカップ2が下限位置に到達したことを認識できるように、取り付けリング16（図10）にスナップ嵌合される。また同時に、カップ2の上方部分3の底部11は、さらに下方への移動を阻止するように、スリーブ13の上方段部38

に当接される。

【0014】

スリーブ13の内径はカップ2の螺旋突条4を収納するために、ハウジング18は螺旋突条4の外径に適合した内径を有しているが、図10に見られるように、周方向部分19において、カップ2の軸方向移動を案内するために、カップ2の下方部分7に形成された平滑な面34に対応して、ハウジング18の内径より短い離間距離で対向配置された平面が形成されている。主に図2及び図3に見られるように、スリーブ13の減径部分12は対向配置された周方向部分19に対応する外周面に凹設されており、スリーブ13が所定位置から外れるのを阻止するためにリング21の内周面から内方に突出して設けられた錠止部分22と係合している。スリーブ13の周方向部分19の下方に形成された下方段部20は、リング21の内方頂部ストッパ27（図13参照）と接触している。スリーブ13の頂部は気密キャップ35を被冠することによって口紅の先端面をスリーブ内に密閉することが可能である。

【0015】

上記したリング21は、図12及び図13に示されたように、筒状形状を有している。リングの内壁はスリーブの外壁に周接している。リング21はスリーブ13の減径部分12と係合する錠止部分22を有している。スリーブ13がさらに下方に摺動しないようにスリーブ13の下方段部20を軸方向に支える内方頂部27を備えている。スリーブ13の下端部を形成するベース部分15を入り込ませるための環状溝28（図13）が、内周面にカップ2の螺旋突条4に係合するための螺旋溝23を形成した下端部から折返された内筒部分との間に画成されている。

【0016】

リング21の外側には、気密カバープラグ37と気密ベースプラグ34及び32によって構成される外殻体36に嵌合する軸方向に離間した2つの嵌合部が突設されている。上方嵌合部25は気密カバープラグ37に嵌合しかつ下方嵌合部24は気密ベースプラグ34又は32に嵌合する。下方嵌合部24の直径はそれを抜き取るための力が異なるため上方嵌合部25より僅かに大きい。使用者は、

気密ベースプラグ34或いは32がリング21とまだ嵌まり込んでいる状態において、気密カバープラグ37のみを抜き取ることができる。従って、使用者は最初に気密カバープラグ37を抜き取ることなく気密ベースプラグ34或いは32を抜き取ることができない。図17を参照すると、下方嵌合部24は、また、気密ベースプラグ32の切り込み39と嵌合可能となっており、気密ベースプラグ32のより高い気密性が確保されている。

【0017】

気密ベースプラグ34は、その内部に、リング21の下方嵌合部24と嵌合するための切り込み37（図15）を備えておりそして気密ベースプラグ34のより高い気密性が確保されている。このベースおよびカバー36は同一部材でありかつ異なった力を取り外し可能である。勿論、下方嵌合部24の直径はそれを抜き取るための力が異なるため上方嵌合部25より僅かに大きく設定されているので、気密カバープラグ37の方が、気密ベースプラグ34より、少ない引張り力で取り外される。

【0018】

図16において、気密キャップ35は、その内径がスリーブ13の上方端部の外径と同一である。そしてこのキャップ35をスリーブ13に装着したままで気密カバープラグ37をリング21に係合することも可能ではあるが、この気密キャップ35のみでの使用は、かかる口紅容器の本来の機能及び効果を損なうことがないので、経済的な意味から寧ろ好ましいものである。

【0019】

図17において、気密ベースプラグ32は、その外観形状は他のプラグと全く同じであるが、底部プラグ33はカップ2下方部分7の内部を気密にするために、孔5を塞いでいる。そして上方部分の内周面に穿設された切り込み39はリング21の下方嵌合部24に嵌合される。

【0020】

上述した構成から明らかなように、口紅1は、カップ2内に収容されかつこのカップ2はリング21に組み込まれるスリーブ13内に組み込まれている。リング21は底部で気密ベースプラグ34或いは32によりかつ頂部で気密カバープ

ラグ37により被覆されている。良好な気密性、コストの減少、良好な品質維持等の目的のために、上記したように、2つの同一部分から構成される外殻体36を、それぞれ気密ベースプラグ32および気密キャップ35との組み合わせに置き換えることにより1つの外殻体36のみとすることができる。

【0021】

この容器の組立て及び動作を説明すると、まず、カップ2、スリーブ13およびリング21がともに組み立てられる。口紅1がカップ2の底部から内部を貫通する孔5を介して充填機によって充填される。充填が完了すると、カップ2の底部はリング21に嵌合する気密ベースプラグ34或いは32によって被覆される。カップ2は、気密ベースプラグ34或いは32を回転すると同時にスリーブ13を使用者が手で保持することにより上方にまたは下方に動かされる。カップ2の上方部分3は、その外径がスリーブ13の内径に嵌合する拡大された直径を有しており、他方、カップ2の下方部分7の下端部には、その上限位置で繰り出し動作を停止させるために、リング21の底端部26に当接可能なストッパ8が突設されている。

【0022】

カップ2が上方に動くとき、その螺旋突条4は回転するリング21の螺旋溝23と整合して駆動されかつカップ2をスリーブ13の内部で口紅1と共に垂直に上昇させる。平滑な部分34はハウジング18に設けられた対向する平面で形成された周方向部分19と当接しており、カップ2の回転を阻止しながら上下移動を案内している。

【0023】

カップ2が下方に向かって動かされるとき、取り付けリング9はスリーブ13の取り付けリング16と嵌合される。錠止されたことを感じるようにスリーブ13の減径部分17に整合する2つの突起10がありそして上方部分底部11は動きを停止するようにスリーブ13の上方段部38に接触する。スリーブ13の内部で、下方段部20がリング21の内方頂部ストッパ27に当接し、かつ、その下に続く円筒形の下端部を構成しているベース部分15が、リング21の溝28内に嵌挿される。スリーブ13の外部には、スリーブ13を締め付けるように錠

止部分22によって錠止される、周方向部分19に対応してリング21の外周面に凹設された減径部分12がある。

【0024】

リング21には、気密カバープラグ37および気密ベースプラグ34或いは32に嵌合するような軸方向に離間して設けられた半径方向外方に向けた突起で構成された上方嵌合部25および下方嵌合部24が形成されている。気密カバープラグ37および気密ベースプラグ34或いは32は、各々リング21から取り外し可能であり、かつ、リング21の下方嵌合部24及びカップ2の孔5の端部開口に嵌合する底部プラグ33を備えた気密ベースプラグ32およびスリーブ13に嵌合される気密キャップ35によって置き換えられ得る。

【0025】

この口紅容器は、その場合に口紅を「直接充填」と呼ばれる手法で、充填機によりカップの孔の底部から直接充填することができ、充填後、気密にすることができる気密ベースプラグを嵌合して封止され、一方、他の直接充填口紅容器は口紅をベースで保持し、充填後、気密でないステッカーによりカップの孔が閉止される。

【0026】

また、この考案は気密ベースプラグおよび気密カバープラグが、同一形状であるため、同一のモールドを使用するため経済的でありそしてリングは、ベースを嵌合しかつカップを動かすような多数の作用を有している。これらベースプラグおよびカバープラグは同一部材であるけれども、それらは異なる力（カバーに関して通常の力、ベースに関してより大きな力）で取り外し可能であり、それは外側のデザインを変更するのに非常に好都合である。加えて、底部キャップ33を備えた気密ベースプラグおよび簡単な構造の気密キャップによって置き換えられることができ、製造コストを低く抑えることができ、かつ、口紅の再充填も可能である。

【0027】

【考案の効果】

叙上のごとく、本考案は、口紅材料を底部から充填し得る、内部を貫通する孔

を備えたカップ、前記カップを内部で上方または下方に移動可能に前記カップを収容するスリーブ、前記カップの外周面に形成された螺旋突条に係合して該カップを上下方向に移動するための螺旋溝を内周面に形成したリング、前記リングの上方嵌合部および下方嵌合部にそれぞれ嵌合して外部からの空気を遮断する上下に分割された気密カバープラグ及び気密ベースプラグから成る外殻体から構成され、前記気密カバープラグが取り外される場合に、前記スリーブに気密キャップが嵌合されると共に前記リング及び前記カップの底部に同時に気密ベースプラグが嵌合するように成した構成したので、部品点数の少ない簡単な構造であるので製造及び組立てに手間がかからず経済的であり、その上、高い気密性により長期に亘る品質維持が可能な口紅容器を提供することができる。